

## 【万葉古代学係彙報】（平成 29 年 1 月～平成 29 年 12 月）

平成 28 年度

- 1 月 7 日 万葉文化館海外技術研修員成果報告会において、張逸農海外技術研修員が「賦の視点から見る万葉長歌「竹取翁歌」一用字法、修辞技法をめぐって」と題して報告。
- 1 月 14 日 飛鳥京観光協会主催のボランティアガイド講座（会場：明日香村商工会館）において、井上さやか指導研究員（以下、井上研究員）が「万葉集における明日香」と題して講演。
- 1 月 22 日 広陵古文化会主催の記念講演会（会場：さわやかホール）において、小倉久美子主任研究員（以下、小倉研究員）が「広陵の万葉歌をよむ一城上と百濟」と題して講演。
- 東京都中央区主催の奈良まほろば館連携講座（会場：奈良まほろば館）において、井上研究員が「采女の袖吹き返す明日香風一志貴皇子没後一三〇〇年」と題して講演。
- 1 月 29 日 第 73 回万葉古代学講座において、小倉研究員が「喪の万葉古代学」と題して講演。
- 2 月 5 日 （公財）奈良市生涯学習財団主催のトークイベント「知れば知るほど好きになる奈良 第 3 弾」（会場：奈良市中部公民館）において、井上研究員が「御蓋山と遣唐使」と題して基調報告。
- 2 月 10 日 タカラヅカ・スカイ・ステージ制作「いにしえ逍遙 旅タカラジェンヌ」の撮影に小倉研究員が対応（3 月より順次放送）。
- 2 月 11 日 第 74 回万葉古代学講座において、大谷歩主任技師（以下、大谷技師）が「万葉びとの異国趣味」と題して講演。
- 2 月 12 日 開館 15 周年記念として「万葉文化館サミット—万葉古代学が目指すもの—」を開催。寺川眞知夫氏（同志社女子大学名誉教授／元万葉古代学研究所長）、上野誠氏（奈良大学教授／元万葉古代学研究所副所長）、松尾光氏（中央大学・早稲田大学非常勤講師／元万葉古代学研究所副所長）、井上研究員が登壇。
- 2 月 15 日 講座「万葉集をよむ」で、小倉研究員が「戯れの恋の歌（662～671 番歌）」を講義。
- 2 月 18 日 万葉文化館ボランティア研修において、小倉研究員が「万葉集の基礎知識、飛鳥池工房遺跡の概要」と題して講義。
- 霊山寺主催の講座「霊山寺塾」（会場：霊山寺）において、井上研究員が「万葉歌に詠まれた伎楽」と題して講演。
- 2 月 19 日 万葉文化館ボランティア研修において、井上研究員と大谷技師が実地研修Ⅱの講師を務める。
- 2 月 23 日 （公財）奈良市生涯学習財団主催の講座「平城生涯学習セミナー」（会場：奈良市立平城公民館）において、井上研究員が「平城京と万葉集」と題して講演。
- 2 月 24 日 奈良県女性活躍推進課主催の女性翻訳者養成研修において、井上研究員が「記紀・万葉を翻訳するということ」と題して館内講座の講師を務める。
- 2 月 26 日 第 10 回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」（研究代表者：乾善彦氏・関西大学教授）の第 4 回共同研究会を開催。
- 2 月 27 日 第 10 回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」（研究代表者：乾善彦氏・関西大学教授）の第 5 回共同研究会を関西大学において開催。
- 3 月 3 日 フランス翻訳学学会（SoFT）「日仏翻訳学研究」第 2 回研究会（会場：京都工芸繊維大学）において、井上研究員が第 5 回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特徴について—」に関連した研究報告を行う。
- 3 月 7 日 第 9 回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」（研究代表者：辰巳正明氏・國學院大学名誉教授）の第 11 回共同研究会を開催。
- 3 月 11 日 展示「万葉集翻訳 collection」（一般展示室）を展示替え。（3/11～5/17）。
- 3 月 15 日 講座「万葉集をよむ」で、大谷技師が「中臣女郎と大伴家持の歌（672～682 番歌）」

- を講義。
- 3月20日 コリアンワールド主催の東アジア平和友好フォーラム「飛鳥／高麗 渡来から東アジア平和友好への道」のパネルディスカッションにおいて、井上研究員が「飛鳥における渡来文化」と題して報告し、討論にも参加。
- 3月25日 第75回万葉古代学講座において、井上研究員が「文化の総体としての万葉集」と題して講演。
- 3月26日 第131回講座友の会会員限定企画「宇陀松山でかたかごの花と薬膳を楽しむ」において、小倉研究員が万葉植物講話の講師を務める。
- 3月28日 第9回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」（研究代表者：辰巳正明氏・國學院大學名誉教授）の第12回共同研究会を開催。
- 3月31日 小倉研究員が離任。

#### 平成29年度

- 4月1日 吉原啓主任技師（以下、吉原技師と略す）が万葉古代学係に着任。
- 4月13日 万葉を楽しむ会主催の学習会（会場：大阪狭山市文化会館 SAYAKA ホール）において、井上研究員が「『万葉集』にみる茅渟」と題して講義。
- 4月14日 みさと万葉学習会（会場：三郷町立図書館）において、大谷技師が「或る僧の嘆き—『万葉集』巻六・元興寺の僧の歌」と題して講義。
- 4月19日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「大伴坂上郎女歌七首（683～692番歌）」を講義。
- 4月23日 鳥根県立古代出雲歴史博物館・三重県立斎宮歴史博物館・奈良県立万葉文化館主催の三館連携シンポジウム「語り継がれる神話、読み継がれる風土記」（会場：大社文化プレイスうら館だんだんホール）において、井上研究員が「万葉歌に詠まれた『神話』」と題して報告し、討論にも参加。
- 4月30日 第132回友の会講座の「記紀万葉ウォーク 23 春の初瀬街道を歩く」において、大谷技師が引率講師を務める。
- 5月14日 第32回万葉古代学東京講座において、井上研究員が「古代宮都と万葉集 飛鳥諸宮」と題して講演。第13回夕星万葉において、大谷技師が「『万葉集』巻1（36～39番歌）持統天皇代④」について講義（いずれも会場は奈良まほろば館）。
- 5月17日 講座「万葉集をよむ」で、吉原技師が「大伴家をめぐる恋（693～702番歌）」を講義。
- 5月19日 一般展示室「万葉集翻訳 Collection Part 2」の展示替え（5月20日～7月12日）。
- 5月24日 J R東海・奈良県主催の「平成29年度奈良学ナイトレッスン（第二夜）」（会場：奈良まほろば館）において、井上研究員が「万葉集から読み解く、古代日本女性の恋と結婚—現代人に送るエール—」と題して講演。
- 5月24日 下野新聞社の取材に吉原技師が対応（7月1日掲載）。
- 5月28日 第134回友の会講座の「記紀万葉ウォーク 24 大和郡山の歴史を巡る」において、井上研究員が引率講師を務める。
- 6月10日 第10回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」（研究代表者：乾善彦氏・関西大学教授）の第5回共同研究会を開催。
- 6月11日 第10回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」（研究代表者：乾善彦氏・関西大学教授）の第6回共同研究会を開催。
- 第33回万葉古代学東京講座において、吉原技師が「古代宮都と万葉集 藤原京」と題して講演。第14回夕星万葉において、井上研究員が「『万葉集』巻1（40～44番歌）持統天皇代⑤」について講義（いずれも会場は奈良まほろば館）。
- 6月21日 講座「万葉集をよむ」で、大谷技師が「をとめたちの恋心（703～713番歌）」を講義。
- 6月24日 東アジア比較文化国際会議日本支部との共催で、「東アジア比較文化国際会議日本支部20周年記念大会」を開催。寺川眞知夫氏（同志社女子大学名誉教授）が「玉と霊—宇気比神話における天孫誕生の意味—」と題して講演、井上研究員が「古代日本

- における文学と芸能」と題して講演を行った。また特別講演として、中西進万葉文化館名誉館長が「東アジアの時間と空間」と題して講演を行った。
- 7月6日 奈良市音訳グループひびきによる視覚障害者向け講演テープの作製について、井上研究員が対応。館内にて「『万葉集』に詠まれた明日香」と題した講演を録音。若干の編集を加えた後に提供の予定。
- 7月12日 橿原市まほろば歴史同好会主催の「まほろば歴史同好会創立10周年記念例会」(会場：橿原観光ホテル)において、井上研究員が「『日本書紀』における人物造形―推古天皇巻の物語性―」と題して講演。
- 7月13日 一般展示室「万葉集翻訳 Collection Part 2」の展示替え(7月15日～8月27日)。
- 7月18日 奈良県主催の「第5回NARA万葉世界賞」選考委員会(会場：山の上ホテル)に、事務局として井上研究員が出席。
- 7月19日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「大伴家持歌七首(714～722番歌)」を講義。
- 7月20日 NHK BSプレミアム「英雄たちの選択」の撮影に吉原技師が対応(9月7日放送)。
- 7月26日 奈良県立大学主催のシニアカレッジ特別講座(会場：桜井市まほろばセンター)において、井上研究員が「万葉集の中の神話―古事記・日本書紀との比較から見えるもの―」と題して講義。
- 7月30日 奈良教育大学主催の近畿ESDコンソーシアム「万葉集を題材とした授業づくりセミナー」(会場：万葉文化館)において、井上研究員が「夏休み子ども万葉教室」の事例を報告。希望者は引き続き実施の同教室にも参加。  
夏休み子ども万葉教室において「万葉ことばあそび」を実施。井上研究員が講師を務める。  
第34回万葉古代学東京講座において、大谷技師が「古代宮都と万葉集 平城京」と題して講演。第15回夕星万葉において、吉原技師が「『万葉集』巻1(45～49番歌)持統天皇代⑥」について講義(いずれも会場は奈良まほろば館)。
- 8月1日 明日香村幼小中一環教育推進委員会・郷土学習部会・明日香村教育委員会主催の明日香村幼小中一貫教育合同研修会「郷土学習プログラム・フィールドワーク」(会場：万葉文化館)において、井上研究員が「『万葉集』と明日香」と題して講義。
- 8月5日 宮崎県主催の「神話のふるさと県民大学」リレー講座(会場：延岡市役所講堂)において、井上研究員が「能楽に登場する神々―神事能と内藤家旧蔵の能面―」と題して基調報告。延岡市内藤記念館学芸員の増田豪氏と対談。  
子ども万葉教室で、「オリジナルはにわをつくろう！」を実施。大谷技師が講師を務める。
- 8月6日 子ども万葉教室で、「世界に一つだけの勾玉をつくろう！」を実施。吉原技師が講師を務める。
- 8月16日 講座「万葉集をよむ」で、吉原技師が「跡見と佐保(723～726番歌)」を講義。
- 8月16日 第10回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」研究代表者：乾善彦・関西大学教授)にかかる万葉文化館蔵古典籍の調査撮影(～19日・22日の5日間)。
- 8月19日 桜井市立図書館主催の図書館文化講座(会場：桜井市立図書館)において、大谷技師が「隠らば共に―『万葉集』と『常陸国風土記』の「小泊瀬山」―」と題して講義。
- 8月20日 奈良女子大学古代学学術研究センターと共催で、第13回(2017年度)若手研究者支援プログラム・奈良県立万葉文化館第16回夏期セミナー「漢字文化の受容 手紙を学ぶ、手紙に学ぶ」を開催。万葉文化館企画展示室において、公開講演会を実施。丸山裕美子氏(愛知県立大学教授)が「月儀と書儀―書の文化と手紙の文学―」と題して、福田哲之氏(島根大学教授)が「手紙がひらいた書の文化―木簡から紙へ―」と題してそれぞれ講演。また、丸山氏・福田氏に司会の西一夫氏(信州大学教授)を加えて質疑応答及び全体討議を行った。
- 8月24日 奈良県文化資源活用課主催の「平成29年度歴史文化資源説明力向上研修」(会場：

- 万葉文化館)において、井上研究員が「歴史文化資源の情報をいかに伝えるか」と題して講義。
- 8月24日 第6回主宰共同研究「神話の視覚化に関する比較文化的研究—記紀万葉を軸に—」の第1回共同研究会を開催。
- 8月25日 第6回主宰共同研究「神話の視覚化に関する比較文化的研究—記紀万葉を軸に—」の第2回共同研究会を開催。
- 8月30日 第10回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」(研究代表者: 乾善彦氏・関西大学教授)の第7回共同研究会を開催(会場: 昭和美術館)。
- 8月31日 第10回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」(研究代表者: 乾善彦氏・関西大学教授)の第8回共同研究会を開催(会場: 万葉文化館)。
- 9月1日 一般展示室「万葉集翻訳 Collection Part 2」の展示替え(9月2日～10月25日)。
- 9月2日 山の辺文化会議主催の「山の辺文化講座」(会場: 天理市文化センター)において、井上研究員が「石上の人びと—万葉集と懐風藻—」と題して講演。
- 9月3日 日本女子大学一行が来館し、吉原技師が館内を案内。
- 9月6日 日本大学の梶川信行氏一行が来館し、吉原技師と大谷技師が館内を案内。
- 9月12日 新潟経営大学の西澤一光氏一行が来館し、吉原技師が館内を案内。
- 9月16日 第14回万葉古代学公開シンポジウム「万葉集の中の漢籍・仏典を考える—新しい万葉集の世界を拓く—」を開催。第9回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」(平成27・28年度実施。研究代表者: 辰巳正明氏(國學院大學名誉教授))の成果報告として実施。稲村和子万葉文化館長による開催挨拶の後、「総論—万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」辰巳正明氏、「万葉集の仏典受容と作品形成—大伴家持の「悲世間無常歌」を考える—」鈴木道代氏(國學院大學助教)、「山林仏教と詩歌—山上憶良と東アジアの仏教—」山口敦史氏(大東文化大学教授)、「万葉集の中の儒教と仏教の受容—その葛藤と作品形成の問題—」辰巳正明氏の報告ののち、上記メンバーによるディスカッションを、大谷技師の司会により行った。
- 9月20日 講座「万葉集をよむ」で、大谷技師が「大伴家持と坂上大嬢の復縁(727～740番歌)」を講義。
- 9月22日 公益財団法人古都飛鳥保存財団主催「飛鳥学冠位叙任試験」の問題作成委員会に、井上研究員が出席。
- 9月27日 NPO法人のべおか天下一市民交流機構主催の「のべおか天下一薪能 能楽講座 能の世界に触れてみよう!」(会場: 延岡市民協働まちづくりセンター)において、井上研究員が「謡曲「三輪」と記紀万葉」と題して講演。
- 10月3日 「月刊なら」の取材に井上研究員・大谷技師が対応(11月1日発行)。
- 10月6日 「月刊大和路なら」の取材に吉原技師・大谷技師が対応(11月1日発行)。
- 10月8日 東京都中央区主催の「中央区民カレッジ」(会場: 奈良まほろば館)において、井上研究員が「伎楽伝来と万葉歌」と題して講演。
- 10月9日 万葉古代学東京講座 追加講座において、吉原技師が「古代宮都と万葉集 藤原京」、大谷技師が「古代宮都と万葉集 平城京」と題して講演。(会場は奈良まほろば館)。  
第59回日本アスペン・エグゼクティブ・セミナーにおいて、井上研究員が「古事記・日本書紀・万葉集—過去と未来の結び目で—」と題して館内講座の講師を務める。
- 10月11日 鳴松会幹事が団体見学の下見のため来館し、吉原技師が館内を案内。
- 10月17日 万葉文化館ボランティア研修旅行を、吉原技師が引率(大津市歴史博物館ほか)。
- 10月18日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「大伴家持と坂上大嬢(741～755番歌)」を講義。
- 10月26日 特別展「日本文化の源流—いまに続く芸能—」の古典籍の展示作業およびパネル作成に、井上研究員、吉原技師、大谷技師が参加。(～27日)
- 10月27日 一般展示室「万葉集翻訳 Collection Part 2」の展示替え(10月28日～12月27日)。

- 10月28日 特別展「日本文化の源流—いまに続く芸能—」のオープニングイベントに伴い、首藤正治氏（延岡市長）、中村誠氏（延岡市教育委員会副参事兼文化課長）、増田豪氏（延岡市 内藤記念館 専門学芸員）の館内案内を大谷技師が務める。  
特別展「日本文化の源流—いまに続く芸能—」関連講座として、増田豪氏（延岡市 内藤記念館 専門学芸員）が「天下一の世界—内藤家旧蔵の能面と神事能—」と題して講演。
- 10月29日 第136回友の会講座の「記紀万葉ウォーク 25 秋の竜田・斑鳩を巡る」において、大谷技師が引率講師を務める予定であったが、台風接近のため中止。
- 10月31日 研究顧問である寺川眞知夫氏（同志社女子大学名誉教授）、上野誠氏（奈良大学教授）、松尾光（早稲田大学非常勤講師）を招き、井上研究員、吉原技師、大谷技師による研究報告会を実施。
- 11月1日 橋本礼法きもの学院一行が来館し、大谷技師が館内を案内。
- 11月3日 延岡市能面ガイドの会一行が来館し、井上研究員が館内を案内。
- 11月5日 奈良県・橿原市・高取町・明日香村主催、(株) ツーリストエキスパーツ実施による「飛鳥認定英語通訳ガイド育成研修」において、井上研究員が『『万葉集』と飛鳥・藤原』及び「翻訳にあらわれる日本文学の特徴について」と題して講義。  
鳴松会一行が来館し、吉原技師が館内を案内。
- 11月11日 第5回 NARA 万葉世界賞贈呈式に関連して、受賞者の李妍淑氏（韓国・東義大学校教授）および一松旬奈良県副知事の館内案内を大谷技師が務める。
- 11月12日 特別展「日本文化の源流—いまに続く芸能—」関連講座として、藤原千沙氏（能面打）が「仮面芸能の潮流—伎楽面・舞楽面・能面—」と題して講演。
- 11月15日 講座「万葉集をよむ」で、吉原技師が「田村大嬢と坂上大嬢（756～761 番歌）」を講義。
- 11月18日 特別展「日本文化の源流—いまに続く芸能—」関連講座として、宮本圭造氏（法政大学能楽研究所教授）が「水をめぐる信仰と大和猿楽」と題して講演。
- 11月19日 宮本亜門氏（演出家）をお招きして、万葉の日記念フォーラム「ニッポンを演出する」を開催。基調講演の後、井上研究員が古典芸能の演出などについて公開インタビュー。
- 11月21日 全国衛生化学技術協議会年会特別講演会（会場：奈良春日野国際フォーラム）において、井上研究員が『『万葉集』にみる古代の奈良』と題して講演。
- 11月23日 第137回友の会講座の「記紀万葉ウォーク 26 秋色の田原の里から正暦寺へ」において、吉原技師が引率講師を務める。
- 11月25日 奈良県教育委員会事務局主催の「郷土学習講座③岡本教授の大和まだある記 誰も知らない大和の神話」（会場：万葉文化館）において、井上研究員が基調報告。
- 11月26日 特別展「日本文化の源流—いまに続く芸能—」関連講座として、見市泰男氏（能面打）が「内藤家旧蔵能面の作者達」と題して講演。
- 11月28日 奈良芸術短期大学の「明日香学講座」において、井上研究員が「明日香（飛鳥）と万葉1』と題して講義。
- 12月2日 葛城市立図書館文学講座（会場：葛城市立新庄図書館）において、吉原技師が「姉大来皇女と弟大津皇子が残した歌」と題して講義。
- 12月3日 特別展「日本文化の源流—いまに続く芸能—」関連ワークショップとして、講師に片山九郎右衛門師（観世流能楽師）ほかを迎え、「能楽ワークショップ」を開催。
- 12月5日 奈良芸術短期大学の「明日香学講座」において、井上研究員が「明日香（飛鳥）と万葉2』と題して講義。
- 12月10日 宇陀市記紀万葉プロジェクトの講座「うだんぎ！ Vol.1」（会場：大宇陀まちづくりセンター「千軒舎」）において、吉原技師が「柿本人麻呂、阿騎野を詠む—飛鳥時代の皇位継承—」と題して講義。
- 12月13日 なら食と農の魅力創造国際大学の「奈良学入門講座」において、井上研究員が『『万葉集』の世界』と題して講義。
- 12月15日 公益財団法人古都飛鳥保存財団主催「飛鳥学冠位叙任試験」の問題作成委員会に、

- 井上研究員が出席。
- 12月17日 なら記紀・万葉 古代にまつわる講演会・ワークショップ（会場：当館）で、吉原技師がワークショップ「勾玉づくり」を担当。
- 12月20日 講座「万葉集をよむ」で、大谷技師が「大伴家持と紀女郎（762～769 番歌）」を講義。
- 12月23日 第76回万葉古代学講座において、井上研究員が「記紀万葉と能」と題して講演。  
※肩書き・題目などは、すべて当時のもの。

◆イベント等への学術情報提供

にぎわいフェスタ万葉春（4月～5月）

- ・コンサート配布プログラムにおける万葉歌紹介（3公演）
- ・映画上映会配布プログラムにおける万葉歌紹介（3作品）

にぎわいフェスタ万葉夏（7月～8月）

- ・映画上映会配布プログラムにおける万葉歌紹介（1作品）
- ・「万葉巨大めいろにちょうせんしょう！！」の万葉クイズ提供

にぎわいフェスタ万葉秋（9月～11月）

- ・映画上映会配布プログラムにおける万葉歌紹介（2作品）
- ・平成万葉市における万葉集に関する展示パネル案の提供
- ・コンサート配布プログラムにおける万葉歌紹介（1公演）

◆専任研究員のおもな業績（平成29年1月～平成29年12月）

井上さやか

[研究論文]

- 「養老の山辺道」（佐藤隆編『東海の「道」から見た上代文学—東海・東山道を基軸に』新典社）、平成28年3月
- 「天探女と石船—『万葉集』の中の〈神話〉—」（『中京大学文学部紀要』第51巻1号）、平成28年12月
- 「『古事記』天石屋戸神話における天宇受売命—発話と露出とわらい—」（『万葉古代学研究年報』第15号）、平成29年3月
- 「『古事記』の英訳—翻訳にあらわれる日本文学の特徴について—」（『万葉古代学研究年報』第15号）、平成29年3月
- 「軽太子と衣通王—『万葉集』の視点、周作人の視点—」（中西進編『東アジア比較文化国際会議 日本支部創立二十周年記念論集『東アジアの知—文化研究の軌跡と展望—』新典社）、平成29年10月

[研究発表]

- 「古代日本における文学と芸能」（東アジア比較文化国際会議日本支部20周年記念大会）平成29年6月

[書評・論評など]

- 「防人と家持」（中西進監修 高志の国文学館編・解説『官人（つかさびと） 大伴家持—困難な時代を生き抜いた良心』桂書房）、平成29年3月
- 新刊紹介「大谷歩氏著『万葉集の恋と語りの文芸史』（『美夫君志』第94号）、平成29年3月
- 「日本文化の源流—『万葉集』と伝統芸能—」（奈良県立万葉文化館特別展「日本文化の源流—いまに続く芸能—」図録）、平成29年10月

[図録など]

- 奈良県立万葉文化館特別展「日本文化の源流—いまに続く芸能—」図録・解説目録（分担執筆）平成29年10月

[その他]

- 「はじめての万葉集 vol.33 司馬の野の春菜摘み」（『県民だより奈良』2017年1月号〔第367号〕、奈良県広報広聴課）、平成29年1月

- 「おすすめ万葉歌」(「よろずは」平成 29 年 3 月)
- 「はじめての万葉集 vol.36 春のよろこび」(「県民だより奈良」2017 年 4 月号〔第 370 号〕、奈良県広報広聴課)、平成 29 年 4 月
- 「やまと万葉がたり」巻 8・1425 番歌(毎日新聞〈奈良版)、平成 29 年 4 月 12 日)
- 「やまと万葉がたり」巻 19・4292 番歌(毎日新聞〈奈良版)、平成 29 年 4 月 26 日)
- 「はじめての万葉集 vol.39 夏野ゆく牡鹿の角」(「県民だより奈良」2017 年 7 月号〔第 373 号〕、奈良県広報広聴課)、平成 29 年 7 月
- 「やまと万葉がたり」巻 8・1527 番歌(毎日新聞〈奈良版)、平成 29 年 7 月 5 日)
- 「やまと万葉がたり」巻 3・241 番歌(毎日新聞〈奈良版)、平成 29 年 7 月 19 日)
- 「万葉歌の魅力をさぐる(40) 古代の芸能 伎楽」(「天飛ぶ」48 号、万葉文化館友の会)、平成 29 年 7 月
- 「飛鳥学冠位叙任試験より 9」(読売新聞〈地域版)、平成 29 年 8 月 30 日)
- 「飛鳥学冠位叙任試験より 10」(読売新聞〈地域版)、平成 29 年 9 月 13 日)
- 「はじめての万葉集 vol.42 庭つ鳥」(「県民だより奈良」2017 年 10 月号〔第 376 号〕、奈良県広報広聴課)、平成 29 年 10 月
- 「やまと万葉がたり」巻 7・1076 番歌(毎日新聞〈奈良版)、平成 29 年 10 月 4 日)
- 「やまと万葉がたり」巻 8・1537 番歌(毎日新聞〈奈良版)、平成 29 年 10 月 18 日)

小倉 久美子(平成 29 年 3 月 31 日離任)

[研究論文]

- 「日本古代喪空間の変遷—殯宮から倚廬成立まで—」(「万葉古代学研究年報」第 15 号)、平成 29 年 3 月
- 「黎明期の万葉集翻訳」(「万葉古代学研究年報」第 15 号)、平成 29 年 3 月

[その他]

- 「歌碑めぐり 19」(「よろずは」平成 29 年 1 月)
- 「はじめての万葉集 vol.34 からまる豆」(「県民だより奈良」2017 年 2 月号〔第 368 号〕、奈良県広報広聴課)、平成 29 年 2 月
- 「はじめての万葉集 vol.37 母のカイコ」(「県民だより奈良」2017 年 5 月号〔第 371 号〕、奈良県広報広聴課)、平成 29 年 5 月

吉原 啓(平成 29 年 4 月 1 日着任)

[研究論文]

- 「近世における「再発見」時の那須国造碑とその周辺」(「歴史と文化」第 26 号)、平成 29 年 7 月
- 「下野国那須官衙遺跡と古代寺院」(佐藤信編「古代東国の地方官衙と寺院」山川出版社)平成 29 年 8 月
- 「那須地域仏教系遺物集成」(分担執筆)(大田原市なす風土記の丘湯津上資料館特別展「那須の人々の心とほとけ—古代から中世初期の仏教をたどる—」図録)平成 29 年 9 月

[図録など]

- 大田原市なす風土記の丘湯津上資料館特別展「那須の人々の心とほとけ—古代から中世初期の仏教をたどる—」図録(共著)平成 29 年 9 月
- 奈良県立万葉文化館特別展「日本文化の源流—いまに続く芸能—」図録・解説目録(分担執筆)平成 29 年 10 月

[その他]

- 「やまと万葉がたり」巻 3・330 番歌(毎日新聞〈奈良版)、平成 29 年 5 月 10 日)
- 「やまと万葉がたり」巻 1・80 番歌(毎日新聞〈奈良版)、平成 29 年 5 月 24 日)
- 「はじめての万葉集 vol.40 千鳥の鳴く「高」」(「県民だより奈良」2017 年 8 月号〔第 374 号〕、奈良県広報広聴課)、平成 29 年 8 月
- 「やまと万葉がたり」巻 16・3854 番歌(毎日新聞〈奈良版)、平成 29 年 8 月 2 日)

- 「やまと万葉がたり」巻1・37番歌（毎日新聞〈奈良版〉、平成29年8月23日）
- 「はじめての万葉集 vol.43 秋を告げる声」（「県民だより奈良」2017年11月号〔第377号〕、奈良県広報広聴課）、平成29年11月
- 「やまと万葉がたり」巻8・1593番歌（毎日新聞〈奈良版〉、平成29年11月1日）
- 「やまと万葉がたり」巻19・4275番歌（毎日新聞〈奈良版〉、平成29年11月15日）
- 「万葉歌の魅力をさぐる（41）万葉歌人の足跡」（「天飛ぶ」49号、万葉文化館友の会）、平成29年12月

## 大谷 歩

### [研究論文]

- 「古代日本の庭園の思想と美学—『懐風藻』の山斎詩をめぐる—」（「万葉古代学研究年報」第15号）、平成29年3月
- 「『万葉集』の翻訳におけるテキストと訓義をめぐる問題点」（「万葉古代学研究年報」第15号）、平成29年3月
- 「処女墓伝説歌の生成—処女の死と〈古物語〉の再生をめぐる—」（『日本文学』第66巻5号）、平成29年5月
- 「元興寺の僧の歌—『万葉集』の俗中の僧と僧中の俗について—」（『東アジア比較文化研究』第16号）、平成29年6月
- 「万葉集と仏教—「愛着」をめぐる対立的構造について—」（辰巳正明編 古代文学と隣接諸学第9巻『万葉集』と東アジア』竹林舎）、平成29年8月
- 「世間の無常を厭へる歌—僧中の古歌をめぐる—」（中西進編 東アジア比較文化国際会議日本支部創立二十周年記念論集『東アジアの知—文化研究の軌跡と展望—』新典社）、平成29年10月
- 「『万葉集』巻十三の三野王挽歌—「犬馬之慕」をめぐる—」（上代文学会春季大会）平成29年5月
- 「大伴家持と「春日遅遅」の歌—鄭玄注『毛詩鄭箋』からの読み—」（全国大学国語国文学会冬季大会）平成29年12月

### [図録など]

- 奈良県立万葉文化館特別展「日本文化の源流—いまに続く芸能—」図録・解説目録（分担執筆）平成29年10月

### [その他]

- 「万葉歌と季節の植物6」（「よろずは」平成29年2月）
- 「はじめての万葉集 vol.35 一杯の酒」（「県民だより奈良」2017年3月号〔第369号〕、奈良県広報広聴課）、平成29年3月
- 「万葉歌の魅力をさぐる（39）処女墓の行方」（「天飛ぶ」47号、万葉文化館友の会）、平成29年3月
- 「はじめての万葉集 vol.38 ナンセンスな歌」（「県民だより奈良」2017年6月号〔第372号〕、奈良県広報広聴課）、平成29年6月
- 「やまと万葉がたり」巻3・325番歌（毎日新聞〈奈良版〉、平成29年6月7日）
- 「やまと万葉がたり」巻15・3580番歌（毎日新聞〈奈良版〉、平成29年6月21日）
- 「はじめての万葉集 vol.41 ひぐらしの声」（「県民だより奈良」2017年9月号〔第375号〕、奈良県広報広聴課）、平成29年9月
- 「やまと万葉がたり」巻7・1068番歌（毎日新聞〈奈良版〉、平成29年9月6日）
- 「やまと万葉がたり」巻10・2110番歌（毎日新聞〈奈良版〉、平成29年9月20日）
- 「やまと万葉がたり」巻8・1512番歌（毎日新聞〈奈良版〉、平成29年11月29日）
- 「はじめての万葉集 vol.44 大口の真神が原」（「県民だより奈良」2017年12月号〔第378号〕、奈良県広報広聴課）、平成29年12月
- 「やまと万葉がたり」巻16・3824番歌（毎日新聞〈奈良版〉、平成29年12月13日）



## 万葉文化館 顧問・客員研究員・研究協力員等一覧

(平成30年1月現在)

### (1) 名誉館長

中西 進 (富山県立高志の国文学館館長)

### (2) 研究顧問

寺川眞知夫 (元万葉古代学研究所長、同志社女子大学名誉教授)

上野 誠 (元万葉古代学研究所副所長、奈良大学教授)

松尾 光 (元万葉古代学研究所副所長、早稲田大学非常勤講師)

### (3) 客員研究員

坂本 信幸 (高岡市万葉歴史館館長)

菅谷 文則 (奈良県立橿原考古学研究所長)

千田 稔 (奈良県立図書情報館長)

辰巳 和弘 (元同志社大学教授)

田辺 征夫 (奈良県立大学特任教授、公益財団法人大阪府文化財センター理事長)

湯山 賢一 (神奈川県立金沢文庫文庫長、東大寺ミュージアム館長)

和田 萃 (京都教育大学名誉教授)

影山 尚之 (武庫川女子大学教授)

### (4) 共同研究員

主宰共同研究員

松村 一男 (和光大学教授)

菅原 真弓 (大阪市立大学教授)

委託共同研究員

乾 善彦 (関西大学教授)

田中 大士 (日本女子大学教授)

樋口百合子 (奈良女子大学古代学学術研究センター協力研究員)

城崎 陽子 (獨協大学特任教授)

新沢 典子 (鶴見大学准教授)

景井 詳雅 (洛西中学・高等学校教諭)

大石真由香 (日本学術振興会特別研究員PD、奈良女子大学非常勤講師)

池原 陽斉 (京都女子大学専任講師)

### (5) 研究協力員

松田 信彦 (元万葉古代学研究所主任研究員・鹿児島工業高等専門学校教授)

西地 貴子 (元万葉古代学研究所研究員・福岡女学院大学非常勤講師)

大館 真晴 (元万葉古代学研究所主任研究員・宮崎県立看護大学教授)

曹 咏梅 (元万葉古代学研究所主任研究員・神奈川大学非常勤講師)

垣見 修司 (元万葉古代学研究所職員・同志社大学准教授)

竹本 晃 (元万葉古代学研究所主任研究員・大阪大谷大学専任講師)